



7月 フルーツミックス

～身近な自然からの学び・育ち～

生命が生まれ変わる春、テントウムシやアゲハなど、園内のミカンやキンカンの木に卵を生んでいるのを見つけました。

子どもたちに身近な自然に触れて欲しいと思い 観察しやすいよう、飼育ケースを準備しました。

絵本と見比べて・・・
何が同じ？何が違う？

うごいてる！！



飼育ケースの中をのぞきこみ、じっと観察しているうちに「うんちした！」「あしはどうなってるん？」などと小さな発見や疑問を見つけました。図鑑で調べたり、実際に触って体感しました。

気づき・発見

アゲハの幼虫のごはん、
みかんの葉はトゲトゲしてるね



テントウシのごはん(アブラムシ)
こんなちっさいのー？！



幼虫が何を食べるかを知ると「ご飯探しに行こう！」と、テラスに探しに行きました。実際に見てみると、アブラムシの大きさに驚いたりみかんの葉にも 匂いがあることを知りました。

くっついた！！

ツルツルしてるなあ

そ〜と触ってみよう・・・



雨の日大好き♪



目でてきた！！

雨の日は、テラスでかたつむりが活動をしているのを見つけました。じっと観察していると 物音に反応して、目が当たりひっこめることに気づきました。

お部屋きれいになったらうれしいね



保育士が、飼育ケースをそうじしていると、「なんで掃除するの？」と質問。「きれいな部屋と、よごれた部屋、どっちがうれしいかな？」と聞かけると「きれいな方がいい！」「じゃあ、メダカも掃除してあげよう！」と水の生き物の汚れにも気づいてしようとする姿が見られました。

じゃがいも掘りもよい経験になりました



草花の育ち

テラスには、ぶどう組がトマトの苗を植え 毎日水やりをしています。手の平に乗るほどの小さな苗は、毎日世話をすることで、子どもたちの倍ほどの背丈になりました。草花は特に季節の変化を感じやすいです。その変化に子どもたちが気づけるよう、言葉がけをしたり 季節の花を植えるなど、環境を整えています。

やまももシロップ
だんだん溶けてきてる

いい匂い・・・



喜びから学びへ・・・

ずっと見守ってきたさなぎが羽化し旅立っていきました。「また来年も帰ってきてね！！」と期待を込めて、手を振っていました。



体験を通して・・・

都会に住む私たちは、普段自然に触れることは少ないですが、少し環境を整えると、多くの自然に気づきます。そして、実際に経験・体験することで気づく学びもあります。子どもたちには身近な生き物や草花を大切にし 年齢なりの命の大切さに気づいてほしいと感じます。また、小学校での生き物への関心や、学びの土台へと繋がってほしいと願います。